

■ 子どもが健やかに成長できる環境づくり

命とくらしの現在を守る『安心』の政策

安心して子どもを生き育てることができる環境づくりを進めるため、妊娠・出産・子育てへの支援を充実

子育て家庭の経済的負担の軽減

◇こうのとりのサポートの充実◇ (61,244千円)

- ・一般不妊治療費助成の対象に「不育症」を追加
- ・特定不妊治療費の拡充(1年目対象回数2回→3回)

◇妊婦健康診査費助成◇ (260,290千円)

- 妊婦健康診査にかかる公費助成の継続
- ・検査項目にヒトT細胞白血病ウイルス1型の抗体検査を追加

NEW!!

☆小児細菌性髄膜炎等予防接種支援☆

(619,764千円)

子宮頸がん予防ワクチン、細菌性髄膜炎予防に効果のあるヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を支援

◇紀州3人っこ施策◇ (107,572千円)

第3子以降の3歳未満児の保育料無料化などを行う紀州3人っこ施策を推進(和歌山市は不実施)

健やかに育つ環境づくり

子育てしやすい環境づくり

◇地域子育て支えあい◇ (773,323千円)

- ・保育所・幼稚園の運動場の芝生化を通じ、子育て施設を拠点とした地域コミュニティを活性化(30箇所)
- ・駅・スーパー等への「授乳スペース」等の設置推進(100箇所)
- ・各市町村における地域の実情に応じた創意工夫のある子育て支援の取組を支援

☆児童虐待への対応強化☆ (112,951千円)

- ・子どもの安全確認の強化に係る児童相談所・市町村の体制強化
- ・児童養護施設・市町村の職員などの資質向上
- ・近畿府県合同での広報・啓発など、児童虐待への対策を緊急的に実施
- ・紀南児童相談所の移転改築

◇子育て支援特別対策(保育サービスの充実)◇

(353,670千円)

保育所や子育て支援のための拠点施設など、保育サービスの基盤となる施設の整備等を緊急的に支援

◇県立白浜なぎさホーム整備◇ (414,110千円)

母子生活支援施設である県立白浜なぎさホームを移転改築

家庭を築く若者への支援

NEW!!

☆わかやま若者出会いサポート☆ (13,500千円)

少子化の要因の一つである未婚化・晩婚化に対する取組として、若者の出会いをサポートするサイトの構築などを実施

(新)小児細菌性髄膜炎等予防接種支援

平成23年度当初予算:619,764千円
(うち新政策:619,764千円)

事業の概要

○疾病の重篤性等を考慮し、市町村が実施する子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を支援

○子宮頸がん予防ワクチンは中学校1年生(13歳相当)～高校1年生(16歳相当)の女子を対象

※市町村により、最大4学年以内であれば、小学6年生も可

○ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンは0～4歳の乳幼児を対象

標準的な接種パターン

子宮頸がん予防ワクチン

中学1年生(13歳相当)の女子に3回接種

ヒブワクチン

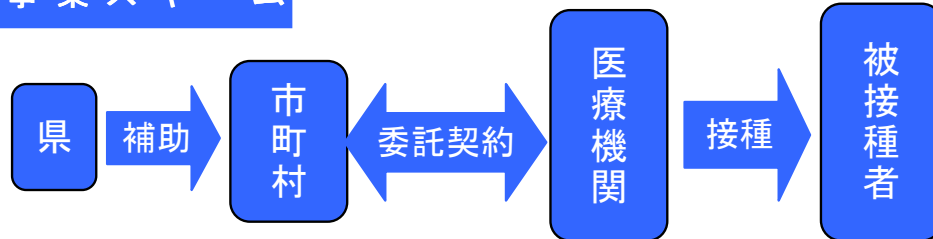
生後2か月以上7か月未満に開始:3回接種(初回)、3回接種からおおむね1年の間隔に1回接種(追加)

小児用肺炎球菌ワクチン

生後2か月以上7か月未満に開始:3回接種(初回)、3回接種から60日以上の間隔に1回接種(追加)

ワクチン	患者数 (年間)	重症/後遺症 (年間)	死亡者 (年間)
子宮頸がん予防ワクチン (HPVワクチン)	子宮頸がん 8,474人 ※子宮の部位不明がん 813人 ※上皮内がんを除く (2005)	子宮頸がんによる死亡者 ※子宮の部位不明がん 2,519人 (2009)	1,390人
ヒブワクチン (Hib(ヘモフィルスインフルエンザ菌b型)ワクチン)	Hib髄膜炎 (推計) 393～735人 (5歳未満:10万人当たり 7.1～13.3人)	髄膜炎患者のうち 11.1～27.9% ※米国CDCでは20～30% ※聴覚障害等の後遺症	髄膜炎患者のうち 0.4～4.6% ※米国CDCでは3～6%
肺炎球菌ワクチン (小児用)	髄膜炎(推計) 142～155人 髄膜炎以外の侵襲性 感染症(推計) (敗血症、関節炎など) 1,022～1,139人	髄膜炎患者のうち 10% ※聴覚障害等の後遺症	髄膜炎患者のうち 2%

事業スキーム



和歌山県ワクチン接種緊急促進基金を活用

児童虐待への対応強化

平成23年度当初予算:112,951千円
(うち新政策:9,229千円)

事業の概要

児童相談所・市町村の体制強化、児童養護施設・市町村の職員などの資質向上や広報・啓発など、児童虐待への対応を緊急的に実施

- ①(新)児童虐待等対応機能強化(9,229千円)
市町村職員の専門性の向上を図るとともに、虐待予防の観点から、親支援プログラム等を実施
- ②(新)児童虐待防止対策緊急強化(91,320千円)
子どもの安全確認の強化のため、児童相談所の体制強化を図るとともに、広報・啓発を積極的に実施し、児童虐待の予防、早期発見を図る
- ③紀南児童相談所改築整備(参考:2月補正 20,116千円)
専門的な相談に必要な施設整備や市町村児童家庭相談への技術的支援など紀南地域における児童相談体制の充実を図る
- ④要保護児童対策等推進(12,402千円)
児童養護施設退所(予定)者等に対する就労支援及び児童養護施設等職員の専門性向上を図る

③ 紀南児童相談所改築整備の概要

○情報交流センターBig・U敷地内
(県有地)に移転改築

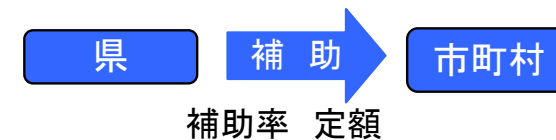
★付与する新たな機能

- ・市町村児童家庭相談の後方支援機能の拡充
- ・家族再統合機能を新設

- ◇所在地:田辺市新庄町3353-9
- ◇延べ面積:約700㎡ 2階建
- ◇工期:H22実施設計～

事業スキーム

①・②(県直接実施分除く)



(新) わかやま若者出会いサポート

平成23年度当初予算:13,500千円
(うち新政策:13,500千円)

事業の概要

少子化の大きな要因の1つである「未婚化・晩婚化」に対する取組として、若者の出会いをサポート

- I. 出会いサポート応援サイトの構築
 - ① 出会い応援イベントの登録
 - ② 出会いを求める企業等の登録[会員専用]
 - ③ 地域での出会いの場創出の取組情報の発信
- II. 出会いイベント等支援

地域、企業、店舗、NPO等、社会全体で若者の出会いの場づくりを応援

I. 出会いサポート応援サイトの構築

- ① 市町村等公的機関、企業等が開催する出会いのための各種イベント情報を掲載
- ② 会員専用で、出会いを希望する若者のグループを企業や事業所単位で会員登録
また、交流イベントに協賛してもらえる企業等を募集
- ③ 地域の自発的な結婚支援の取組情報を紹介

II. 出会いイベント等支援

市町村が若者の健全な出会いの機会と交流の場を提供するイベント等への助成

- ・実施主体:市町村
- ・補助率:10/10(上限1,000千円)
- ・事業期間:平成23年度限り

事業スキーム

※ I. 出会いサポート応援サイト(①)について

